

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。  
さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与すべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の受託を開始することになりました。  
取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

- HTLV-1抗体[ラインプロット法] :項目コード 3663

### 受託開始日

平成30年12月1日(土)受託分より新規受託開始

※ 詳細につきましては、裏面の内容をご参照願います。

▼今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目を中止させていただきます。

項目コード	検査項目	受託中止日
3601	HTLV- I (ATLV)抗体 [ウエスタンプロット法]	平成 30 年 12 月 5 日(水)最終受託をもって中止



保健科学研究所 〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL.045-333-1661  
保健科学東日本 〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673 TEL.048-543-4000  
保健科学西日本 〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328 TEL.075-933-6060  
保健科学東京 〒160-0001 東京都新宿区片町3-3 TEL.03-3357-3611  
保健科学新潟 〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31 TEL.025-275-0161

## 新規受託項目

項目コード	検査項目 JLAC10	検体 必要量	容器 保存方法	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 判断料	備考
3663	HTLV-1抗体 〔ラインブロット法〕 5F460-0000-023-833-11	血清 0.2 mL	A ↓ G 冷蔵	ラインブロット法 〔LIA法〕	判定（－）	5～8 日	425 免疫	*4

検査場所：エスアールエル(略号：\*4)

### ▼ 臨床的意義

ヒトT細胞白血病ウイルス I 型 (HTLV-1) は、成人T細胞白血病 (ATL) や HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) 等の起因ウイルスであり、HTLVキャリアの大部分は抗HTLV-1抗体を保有しています。HTLV-1抗体検査は、ATL や HAM の診断補助や、母子感染などの感染防止を目的としたキャリア検出に重要な役割を果たしています。

HTLV-1抗体検査は、一次検査としてPA法やCLEIA法が用いられ、陽性例においては、ウエスタンブロット法〔WB法〕による確認検査が行われていましたが、WB法においては 0～20% が「判定保留」となり、ウイルスは存在するが産生抗体力価が低い状況では、抗体検出系である WB 法のみでの確定診断は困難であることが問題となっています。

本項目は、判定保留率を低下させる目的で開発されたラインブロット法で、抗HTLV-1抗体および抗HTLV-2抗体を検出する定性検査です。WB法と同様、一次検査での陽性例に対する確認検査として、新たに保険適用となりました。現状のWB法に比べ、判定保留率が低減することが期待されます。

### ▼ 判定基準

ラインが認められない		陰性
ラインが1本認められる(≥±)	gag p19 か gag p24 か env gp46 のいずれかが認められる	保留
	env gp21 が認められる	
ラインが2本認められる(≥±)	env gp21 が認められない	陽性
	env gp21 が認められる	
ラインが3本認められる(≥±)		

### ▼ 検査方法参考文献

Zrein M, et al. : Clin Diagn Lab Immunol 5(1):45. 1998